

言語文化学部・国際社会学部・国際日本学部  
2026年度前期日程入学試験問題  
地理歴史（歴史総合、日本史探究）  
正解・配点・解答例（150点満点）

歴史総合〔60点〕

- 問1 民本主義〔5点〕  
問2 (e)〔5点〕  
問3 カール・マルクス〔5点〕  
問4 南満洲鉄道〔5点〕  
問5 〔10点〕

【解答例】

戦時には国内での階級対立をやめるべきであり、労働者同士が戦うこともやむを得ない（39字）

- 問6 〔30点〕

【解答例】

女工たちはストライキを通して賃上げなど労働条件の改善だけでなく人間としての尊厳をも求めた。土木・清掃労働者たちの要求も、浴場の設置だけでなく最下層労働者を象徴する半纏の強制に反対するものだった。こういった自主的な民衆運動を伴いながら登場した社会主義思想は貧富の格差などの社会問題の解決を掲げた。しかし第一次世界大戦により多くの社会主義者たちが戦争に協力するなかローザ・ルクセンブルクは帝国主義時代の戦争ではいずれが勝利しても労働者には悪がもたらされると考え、陳独秀も帝国主義的野望を克服できないパリ講和会議に西欧民主主義の限界を見出し、革命的介入や共産党設立によって新たな社会をつくることを目指した。（300字）

日本史探究〔90点〕

- 問1 お雇外国人〔5点〕  
問2 殖産興業〔5点〕  
問3 政商〔5点〕  
問4 富岡製糸場〔5点〕  
問5 岩倉使節団〔5点〕  
問6 鎮台〔5点〕  
問7 秩禄処分〔5点〕  
問8 士族授産〔5点〕  
問9 銀座煉瓦街〔5点〕  
問10 四民平等〔5点〕  
問11 〔40点〕

【解答例】

日本近世社会は身分を編成原理とし、身分は集団として存在した。各身分は固有の役を負担する代償として集団的特権を付与され、経済秩序は役と特権を媒介とする集団的独占の体系として構成されていた。商業の発達に伴い、問屋商人らは株仲間を結成し、運上金上納と引き換えに一定地域で特定商品を独占する権利を公認された。皮革関連業もこの秩序に組み込まれ、東日本では穢多頭弾左衛門とその配下が動物死体処理や皮革製造を独占した。これは賤民身分に固有の役務と不可分の特権であり、身分秩序の一環として制度化されていた。しかし明治維新により身分秩序が解体し、近代的市場経済が成立すると、集団的独占は否定され、自由競争が拡大した。その過程で西村勝三らは新技術・機械を導入して工場制生産を開始し、伝統的業者と競合するとともに窮民授産事業も展開した。ここに、役と特権の体系から資本主義的生産様式への構造転換が明確にみられるのである。（398字）